

1 学校教育目標

明るい子 強い子 考える子

2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	・安全で笑顔あふれる学校 ・保護者・地域から信頼される学校 ・子供も教職員も生き生きと輝いている学校
○児童・生徒像	(明るい子) 明朗で礼儀正しく、情操豊かで自他を尊重できる児童 (考える子) よく見、よく聞き、よく考えて自己表現し、行動する児童 (強い子) 健康で、きまりを守り、責任を果たす児童 めあてをもち、意欲的に学習する児童
○教師像	・子供の人権を守り、子供とともに汗し、喜びや悲しみを分かち合う教師 ・指導力の向上を目指し、主体的・意欲的に研修に励む教師 ・子供のよさを認め、励まし、高める教師 ・課題意識をもち、組織的に課題に対応できる教師

3 学校の現状及び前年度の成果と課題

(学校の現状)

○学級数19学級、児童数580名超、創立56周年を迎える。学区域は、南北に2kmと長く、中央を環七が東西に走り、学区を二分している。保護者・地域の方々は、学校教育に理解があり、協力的である。

児童は、明るく素直で、子供らしい児童が多い。学習中は、規律が守られ、落ち着いて学習に取り組む児童が多い。教職員は、若手教員が多く、一つ一つの授業や行事に、熱心に指導に取り組んでいる。足立スタンダードを軸にした授業を展開し、思考力・判断力・表現力を高める授業を目指し、取り組んでいる

重点的な取組事項－1 学力向上

○昨年度の区学力テストでは、目標値通過率 国語93.4% 算数91.0% である。目標である85%を大きく上回った。領域別正答率でも、全ての項目で全国の数値を上回った。特に、「読むこと」の領域では、各学年で全国比5ポイント以上上回っており、足立スタンダードに基づいた授業の改善、課題の設定、発問の工夫などを行った成果が表れた。今後更に読解力・思考力・活用力・応用力を高めるために、ICTの活用を含めた指導法の改善、学習材の工夫に取り組む必要がある。より多くの児童が目標値を通過できるよう、今後も個に応じた指導を充実させる。児童の習熟状況に応じた学習材、指導形態などの指導法を工夫・改善していく。

重点的な取組事項－2 豊かな心をはぐくむ 規律ある行動

○いじめに関しては、早期の発見・対処ができていた。今後もいじめ0、見逃し0を目指していく。褒められると「ありがとうございます。」と返事ができるなど、規律ある生活の中で、安定した心が育っていると考えられる。その素直な心・思いやりの心をより高めていく。

4 重点的な取組事項

	内 容	実施期間（年度） R:令和				
		R4	R5	R6	R7	R8
1	学力向上アクションプラン	◎	◎	◎	◎	◎
2	豊かな心を育む	◎	◎	◎	◎	◎
3	健康な体づくり	◎	◎	◎	◎	◎

重点的な取組事項－1		学力向上アクションプラン							
A 今年度の成果目標		達成基準 (目標通過率)		実施結果 (通過率結果)		コメント・課題		達成度 ◎○△●	
○基礎的・基本的な学習内容の確実な定着 ○読解力・活用力・応用力の育成		○区学力調査目標値通過率 国語85%以上 算数85%以上				自己評価の際に記入			
B 目標実現に向けた取組み									
新・継	アクションプラン	対象学年 実施教科	頻度・ 実施時期	具体的な取り組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認 方法	達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●
1 継	AIドリルの活用	全児童 国語 算数 基礎技能中心	授業・パワーアップタイム 週に2回	・担任 ・授業：学習内容の定着を図るため、数問取り組む。 ・パワーアップタイム：個別に学内容の定着を図る必要がある内容について取り組む。	教員の自己評価 単元テスト (知識・技能系)	目標値を80%として通過率 低学年85% 中学年80% 高学年75% 以上の人数	自己評価の際に記入		

2 継	足立スタンダードに基づいた授業展開	全児童 全教科	年間	<ul style="list-style-type: none"> ・足立スタンダードの徹底 ・校内研究（4回）、小中連携（7回）での研究授業の実施、区内外の研究発表会への参加（区内1隣接区1） ・日常の授業観察と指導・助言（管理職・教科指導専門員） 	授業公開 教員の自己評価 単元テスト	教員の自己評価 95%以上実施 児童の意識調査から「授業が分かる・楽しい」 目標値を80%として通過率 低学年 85% 中学年 80% 高学年 75% 以上の人数
3 継	個別指導（さかのぼり）	全児童 国語 算数	年間 15時間程度 低：木5 高：木6	<ul style="list-style-type: none"> ・担任、専科、学習支援ボランティア ・習熟度別少人数のグループ学習を通して既習内容の習熟を図る 	学力定着年度末確認テスト（2月）	通過率 国語 75% 算数 75% 以上の人数
4 継	寺子屋タイム	対象児童 各学級 5人程度、 各教科	毎週木曜日 放課後45分	<ul style="list-style-type: none"> ・担任＋専科 ・教科書、計算ドリル、漢字ドリル等を活用して習熟、定着していない内容の補習を図る 	単元テスト（知識・技能系）	目標値を80%として通過率 低学年 85% 中学年 80% 高学年 75% 以上の人数
5 継	パワーアップタイム	全児童 算数	5校時前の 10分間	<ul style="list-style-type: none"> ・担任 ・東京ベーシックドリルやAIドリルなどを使い、学習内容の復習・確認を行い、定着を図る。 	単元テスト（知識・技能系）	目標値を80%として通過率 低学年 85% 中学年 80% 高学年 75% 以上の人数

自己評価の際に記入

6 継	放課後補習	対象児童	随時	・担任に加えて、専科、学習支援ボランティア ・東京ベーシックドリルや計算ドリル等を活用して、学習の習慣化・学習内容の定着を図る	単元テスト (知識・技能系)	目標値を80%として通過率 低学年85% 中学年80% 高学年75% 以上の人数
7 継	ICTの活用	全児童 全教科 思考力 向上	年間	・担任、専科 ・児童がより分かるためにICTを活用した授業を行う	週の予定表 教員の自己評価	全教員が週3回以上ICTを活用した授業を行う
8 継	図書活動の充実～自力解決能力の向上～	全児童 全教科 全時間	年間	・学校図書館資料を活用して、年間10時間以上探究学習を行う ・教員・ボランティアによる読み聞かせ	教員の自己評価 読書カード 児童自己評価	探究学習が楽しい80%以上
9 継	コツおはカード	全学年 全員	月1回 第2週 目	・家庭学習の定着を図る。 低学年…30分以上 中学年…45分以上 高学年…60分以上	コツおはカードの提出内容 全児童の達成率の調査	各月において、家庭学習の目標時間90%以上の達成率
10 継	夏期補充	対象児童 各学年 10名程度 国語 算数	夏休み 期間中 の10日 各日60 分	・担任、専科、学習ボランティア ・学力調査で分析した、学習内容の補充をプリント・タブレット、リモート等を活用して理解を図る。	自作確認テスト(初日・最終日)	参加児童が正答率10%以上のアップ

自己評価の際に記入

重点的な取組事項－2		豊かな心をはぐくむ 規律ある行動		
A	今年度の成果目標	達成基準	実施結果	コメント・課題
				達成度

自己肯定感を高める 思いやりのある心を育む 規律ある行動をする	学校は楽しい95% 自分を肯定的に捉えられる90% みそあじ全項目90%	自己評価の際に記入
---------------------------------------	--	-----------

B 目標実現に向けた取組み

項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
自己肯定感の向上	学校は楽しい95% 自分を肯定的に捉えられる90%	・ふれあい月間の取組年3回 ・道徳授業の充実 ・課外スポーツクラブ・金管クラブ	自己評価の際に記入		
思いやりの心を育てる	仲間との関わりが良好90%	・きょうだい班集会、全校遠足 ・きょうだい班活動・児童集会			
読書に親しみ豊かな心を育む	進んで読書をする85%	・朝読書週1回 ・読書教室(1・2年) ・読書月間の設定			
規律ある行動をする	み(身支度) そ(掃除 外遊び) あ(挨拶 返事) じ(時間を守る) 各項目90%	・学級・学年・全校指導での指導の徹底、 ・生活習慣強化週間(月1回1週間)の実施			

重点的な取組事項－3		健康な体づくり			
A	今年度の成果目標	達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度

<p>体力向上 日常的に運動に親しむ児童の育成</p>	<p>全種目の70%で区平均を上回る 児童の自己評価 項目 90%以上</p>				
<p>B 目標実現に向けた取組み</p>					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
<p>体力向上</p>	<p>70%の種目数で区平均を上回る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・長縄跳び、持久走の取組、 体育朝会の計画的な実施と 実施方法の工夫・改善 ・調査結果を基にして強化領 域の決定（投力・柔軟性） 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">自己評価の際に記入</div>		
<p>運動に親しむ 運動の日常化</p>	<p>外遊びを進んでする 運動することが好き 各項目自己評価90%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・体育指導技術向上のための 実技研修 ・外遊びの奨励 ・のびのびタイムの実施 			